(様式S－501)

転 売 物 件 調 書 (一 般 の 土 地 取 引)

市区町村名　　平成　　年　　月作成

No.	所在地 (地番)	面　積 (m²) (地図座標)	地目	受付日	原因日 (原因)	売主－転売者－買主		抵当権設定年月日	区分	(根)抵当権者		債権額 限度額	整理		調査番号
				年月日	年月日	氏名 (名称)	住所			氏名 (名称)	住所	金額 (万円)	年月日	内容	
						売主 転売者									
						転売者 (売主) 転売者 (買主)									
						転売者 買主									
						売主 転売者									

						転 売 者 (売主) 転 売 者 (買主)									
						転 売 者 買　　主									

地目　1―田　　2―畑　3―宅地　　4―山林　5―その他

区分　1―根・共　2―根　3―抵・共　4―抵　　5―仮根・共　6―仮根　7―仮抵・共　8―仮抵　9―設定なし

(1)　登記原因が売買、払下げ又は買収である取引のうち、一般の土地取引であるものを対象に転売状況を把握し、物件別に整理する。

(2)　過去1年間(例えば、1月分については、前年の2月1日から当該取引の受付までの期間。調査開始後1年に満たない場合は、調査開始時点から当該取引の受付までの期間。以下本様式において同じ。)に既に1回以上の取引が行われている土地(転売された土地)について、転売回数の多い土地から順に(転売回数が同じであるときは、所在地順に)同調査期間中の一連の土地取引を登記原因日順にすべて記載する。

(3)　面積は、土地の面積に持分割合を乗じた取引面積である。

(4)　住宅地図の座標は、土地の所在を住宅地図の上に色塗りした際の座標を記載する。

(5)　受付日は、登記申請の日とする。

(6)　原因日は、売買契約等の成立の日とする。

(7)　過去1年間に既に2回以上の取引が行われている場合については、登記簿から、転売者に対して行った抵当権の設定日、抵当権者の氏名及び住所、債権額又は限度額、整理の年月日及び内容を記載する。

(8)　調査番号は、調査票における番号である。